科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅰ （助産過程）	１単位（15時間）	４月～６月	*専任教員(*実務経験有)

科目目標
１．助産診断・技術学の概要、マタニティサイクル各期の助産過程の展開について理解する。

DPとの関連
DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	助産診断・技術学の概要	講義	専任教員
2	助産過程の目的と意義	講義	専任教員
3 4 5	妊娠期のマタニティ診断	講義	専任教員
6 7	分娩期のマタニティ診断	講義	専任教員
8	評価過程	講義	専任教員

使用テキスト	評価方法
実践マタニティ診断（医学書院） 助産学講座６(医学書院) 助産学講座７(医学書院)	筆記試験 妊娠期・分娩期の助産過程展開

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅱ （ライフサイクル各期の女性の支援）	１単位（30時間）	５月～１１月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．ライフサイクル各期にある女性の性と生殖に関する特徴を理解する。

２．ライフサイクル各期にある女性の性と生殖に関して起こりやすい主な疾患とその援助を理解する。

３．ライフサイクル各期にある女性の性と生殖に関して起こりやすい健康問題とその支援を理解する。

DPとの関連

DP2：女性の健康を支援できる基礎的な能力が身につく。

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践できる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	女性のライフサイクルの特徴と変遷 ライフサイクル各期にある女性の特徴と支援の必要性	講義	非常勤講師 （助産師）
2 3 4	ライフサイクル各期にある女性の健康問題と支援 ライフサイクル各期にある女性への健康教育の実際	講義・グループワーク	非常勤講師 （助産師）
5	プレコンセプションケアとは わが国のプレコンセプションケアの課題と助産師の行うプログラムの紹介	講義	非常勤講師 （助産師）
6 7	ライフサイクル各期にある女性に起こる疾患	講義	非常勤講師 （医師）
8 9	ライフサイクル各期に起こる性感染症	講義	非常勤講師 （医師）
10	思春期にある人への援助 思春期の発達段階に応じた性教育	講義	専任教員
11	性教育の実際	出張講座 （模擬性教育） 見学	専任教員
12～ 15	性と生殖に関連するセミナー参加	セミナー参加	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座２（医学書院） 助産学講座５（医学書院） 助産師基礎教育テキスト２（日本看護協会出版社） 家族計画指導の実際（医学書院）	筆記試験 出席点、グループ点 レポート

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅲ （妊娠期の援助）	１単位（30時間）	４月～６月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．正常な妊娠経過と妊娠に伴う母体の変化、胎児の発育や胎児付属物について理解する。

２．妊娠経過を診断するための診断技術を理解する。

３．正常な妊娠経過をたどるための妊婦と家族への支援を理解する。

DPとの関連

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2	妊娠の概念・成立・維持、妊娠による母体の変化 胎児の発育と胎児附属物	講義	非常勤講師 （医師）
3	母体・胎児の免疫学的特性	講義	非常勤講師 （医師）
4 5	妊娠期のフィジカルアセスメント	講義	専任教員
6	妊婦の心理社会生活の変化と支援	講義	専任教員
7 8 9 10	妊婦の健康診査に必要な技術（問診・外診・計測診）	講義	専任教員
11	妊娠経過に対応したケア	講義	専任教員
12	妊娠期の運動・マイナートラブル	講義	専任教員
13	就労妊婦	講義	専任教員
14	妊婦や家族の親準備・出産準備	講義	専任教員
15	妊婦健康診査（演習）	演習	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座２（医学書院） 助産学講座６（医学書院） 助産師基礎教育テキスト４（日本看護協会出版社） ＜参考図書＞ 最新産科学正常編（文光堂）、今日の助産（南江堂）、病気が見える産科（メデックメディア）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅳ （妊娠期の異常と援助）	１単位（15時間）	５月～６月	*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．ハイリスク妊娠および妊娠期の異常を理解する。

２．ハイリスク妊娠および妊娠期の異常にある妊婦の助産診断と援助を理解する。

DPとの関連

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	異常妊娠の病態および治療	講義	非常勤講師 （医師）
2	ハイリスク妊娠の病態および治療 異常妊娠の病態および治療	講義	非常勤講師 （医師）
3	母子と感染	講義	非常勤講師 （医師）
4	ハイリスク・異常妊娠妊婦のアセスメントと助産師の役割	講義	非常勤講師 （助産師）
5 6 7	ハイリスク・異常妊娠妊婦への援助	講義	非常勤講師 （助産師）
8	子宮内胎児死亡時のケア・グリーフケア 社会的・心理的ハイリスク妊婦への援助	講義	非常勤講師 （助産師）

使用テキスト	評価方法
助産学講座２（医学書院） 助産学講座６（医学書院） 助産師基礎教育テキスト７（医学書院） ＜参考図書＞ 最新産科学異常編（文光堂）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅴ （分娩期の援助）	１単位（30時間）	４月～６月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．分娩の三要素や母体および胎児の正常な分娩経過と分娩進行に伴う変化を理解する。

２．分娩経過を診断するための診断技術を理解する。

３．正常な分娩経過をたどるための産婦と家族への支援を理解する。

DPとの関連

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	分娩の定義と種類、分娩の三要素 分娩の経過に伴う母体および胎児の生理的変化	講義	非常勤講師 （医師）
2	分娩のメカニズム	講義	非常勤講師 （医師）
3	分娩期のフィジカルアセスメント、分娩開始の診断	講義	専任教員
4 5 6	分娩期の経過診断	講義	専任教員
7 8	内診	講義・演習	専任教員
9	胎児および胎児付属物のアセスメント 母体の健康状態のアセスメント	講義	専任教員
10	分娩進行状態の診断	講義	専任教員
11	産婦・家族の心理、社会的変化 産婦の日常生活行動の充足と適応	講義	専任教員
12 13	産婦の支援の基本	講義	専任教員
14 15	分娩経過に沿ったケア	講義	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座７（医学書院） 助産師基礎教育テキスト５（日本看護協会出版社） 今日の助産（南江堂） 病気がみえる産科（メディクメディア） 最新産科学正常編（文光堂）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅵ （分娩介助）	１単位（30時間）	４月～６月	*専任教員 （*実務経験有）

科目目標

１．分娩介助技術の科学的根拠と介助技術を理解する。

DPとの関連

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	分娩介助技術の意義と原理原則	講義	専任教員
2 3 4 5 6 7 8 9	正常分娩の胎児の産道通過機転と分娩介助法 ・分娩介助の準備 ・分娩介助技術 ・分娩介助中に必要時行う技術 ・分娩介助における間接介助者の役割と準備 ・出生直後の新生児の援助 ・胎児付属物の検査と計測	講義・演習	専任教員
10 11		演習	専任教員
12 13	分娩介助技術演習	講義・演習	専任教員
14	分娩介助技術の再確認 異常分娩時および必要時行う分娩介助技術	講義・演習	専任教員
15	会陰裂傷および会陰切開部の縫合の実際と援助	講義・演習	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座７（医学書院） 助産師基礎教育テキスト５（日本看護協会出版社） 今日の助産（南江堂） 写真でわかる助産技術アドバンス（インターメディカ） 最新産科学正常編（文光堂） 正常分娩の助産術（医学書院）	分娩介助技術試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅶ （分娩期の異常と援助）	１単位（15時間）	５月～７月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．分娩期の異常を理解する。

２．産科手術および産科的医療処置、産科救急を理解する。

３．ハイリスクおよび正常から逸脱した（異常）状態にある産婦の助産診断と援助を理解する。

DPとの関連

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	分娩の３要素の異常 分娩にともなう偶発疾患・合併症	講義	非常勤講師 （医師）
2	異常分娩（吸引分娩・鉗子分娩・骨盤位分娩） 分娩誘発・促進 帝王切開術 産科手術	講義	非常勤講師 （医師）
3	異常出血・産科ＤＩＣ・産科救急と母体搬送における周産期医療連携	講義	非常勤講師 （医師）
4	帝王切開術の麻酔 分娩時の鎮痛法（無痛分娩・和痛分娩） 分娩損傷とその修復	講義	非常勤講師 （医師）
5	ハイリスク・異常状態にある産婦のケア	講義	専任教員
6	胎児および胎児附属物の異常とケア	講義	専任教員
7	分娩にともなう損傷・合併症・産科処置・手術	講義	専任教員
8	産科ショックと緊急時のケア	講義	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座７（医学書院） 助産師基礎教育テキスト５（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト７（日本看護協会出版社） ＜参考図書＞ 今日の助産（南江堂）、病気が見える産科（メデックメディア）、最新産科学異常編（文光堂）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅷ （産褥期の援助）	１単位（30時間）	４月～６月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．正常な産褥経過と産褥経過に伴う身体的・心理社会的変化を理解する。

２．褥婦の経過を診断するための診断技術を理解する。

３．正常な産褥経過をたどるための褥婦と家族への支援を理解する。

４．ハイリスク・異常産褥を理解する。

５．ハイリスク・異常状態にある褥婦の援助を理解する。

DPとの関連

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2 3	産褥期にある女性へのケアの理念 産褥期にある女性の身体的特徴と援助	講義	専任教員
4 5	産褥期にある女性への心理社会的特徴と援助	講義	専任教員
6 7 8	産褥・新生児期のマタニティ診断	講義・討議	専任教員
9 10	産褥期にある女性への援助の実際	演習	専任教員
11 12 13	母乳育児支援	講義・演習	非常勤講師 （助産師）
14	産褥期の異常・偶発疾患	講義	非常勤講師 （医師）
15	産褥期の精神疾患	講義	非常勤講師 （医師）

使用テキスト	評価方法
助産学講座７（医学書院） 助産師基礎教育テキスト６（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト７（日本看護協会出版社） 実践マタニティ診断（医学書院） ＜参考図書＞ 今日の助産（南江堂）、病気がみえる産科（メディクメディア）、最新産科学異常編（文光堂）	筆記試験 産褥・新生児の助産過程展開

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅸ （新生児期の援助）	１単位（30時間）	４月～６月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．新生児の生理的変化や正常経過を理解する。
２．新生児の経過を診断するための診断技術を理解する。
３．新生児が正常な経過をたどるための援助と家族への支援を理解する。
４．ハイリスク・異常新生児を理解する。
５．ハイリスク・異常新生児の援助と家族支援を理解する。

DPとの関連

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2 3	新生児の胎外生活への適応生理 新生児の注意を要する症状・状態および異常	講義	非常勤講師 （医師）
4 5 6		講義	非常勤講師 （医師）
7	助産師が行う新生児のケア	講義	専任教員
8	新生児のフィジカルアセスメント	講義	専任教員
9	新生児のフィジカルアセスメントに必要な技術	演習	専任教員
10	出生直後から生後24時間までの新生児の援助	講義	専任教員
11	出生後24時間以降の早期新生児の援助	講義	専任教員
12	新生児への援助技術	演習	専任教員
13	ハイリスク新生児のケア	講義	非常勤講師 （助産師）
14	NICUに収容される児の主要疾患と看護の実際	講義・演習	非常勤講師 （助産師）
15	家族への支援の実際	講義	非常勤講師 （助産師）

使用テキスト	評価方法
助産学講座８（医学書院） 助産師基礎教育テキスト６（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト７（日本看護協会出版社） ＜参考図書＞ 今日の助産（南江堂）、病気がみえる産科（メディクメディア）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅹ （教育・指導・相談技術）	１単位（30時間）	４月～９月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．健康教育を行うための基礎知識を理解する。

２．健康教育を行うための指導・相談活動の実際を理解する。

３．集団指導の企画・運営・評価を理解できる。

DPとの関連

DP1：豊かな人間性と高い倫理観を基に母子にやさしい支援ができる能力が身につく。

DP2：女性の健康を支援できる基礎的な能力が身につく。

DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2	教育・指導・相談に必要な理論 教育・指導・相談の基礎技術	講義	非常勤講師 （助産師）
3 4	相談技術（カウンセリング） 相談技術（コミュニケーションスキル） 教育・指導場面へのICT活用	講義	非常勤講師 （助産師）
5 6	健康教育の実際/個別指導（演習）	講義	非常勤講師 （助産師）
7	家族計画指導	講義	専任教員
8	産後の家族計画指導	講義	専任教員
9 10	家族計画指導の企画運営	講義・演習	専任教員
12	周産期にある女性への健康教育	講義	専任教員
13 14 15	出産準備教室企画	講義	専任教員
15	健康教育の実際/集団指導（演習）	演習	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座５（医学書院） 助産学講座６（医学書院） 助産師基礎教育テキスト４（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト６（日本看護協会出版社） 家族計画指導の実際（医学書院）	筆記試験・出席状況 健康教育の企画書および指導案と実施内容 家族計画指導の企画書および実施内容

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産診断・技術学Ⅺ （検査と治療）	１単位（15時間）	５月～６月	*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標
１．マタニティサイクル各期で行われる検査を理解する。 ２．マタニティサイクル各期で使用される薬剤を理解する。

DPとの関連
DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践ができる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2 3	胎児心拍陣痛計（分娩監視装置） 超音波検査	講義	非常勤講師 （医師）
4 5	妊娠に関連した血液検査・生化学検査 レントゲン検査 母子感染に関する検査	講義	非常勤講師 （医師）
6 7	薬剤投与の原則 妊娠期、分娩期、産褥期に使用する薬剤	講義	非常勤講師 （医師）
8	授乳と薬剤	講義	非常勤講師 （妊婦・授乳婦専門薬剤師）

使用テキスト	評価方法
助産学講座３（医学書院） 助産学講座６（医学書院） 助産学講座７（医学書院） 助産師基礎教育テキスト４（日本看護協会出版社） ＜参考図書＞ 助産師と研修医のための産科超音波検査（診断と治療社）、胎児心拍モニタリング講座（メディカ出版）	筆記試験